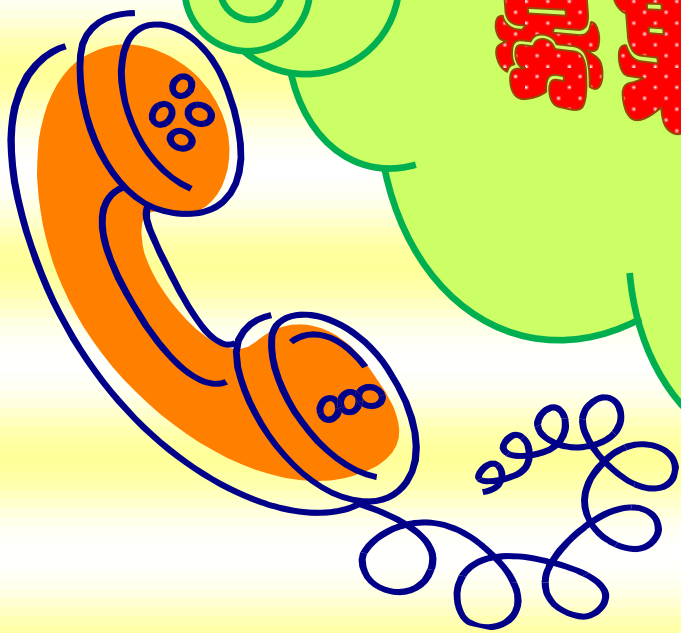




チャイルドラインは、
18歳までの子どもがかける
子ども専用電話です

電話の受け手を
募集します！



--第13期キャッチャー養成講座--

2013年5月開講（全10講座）

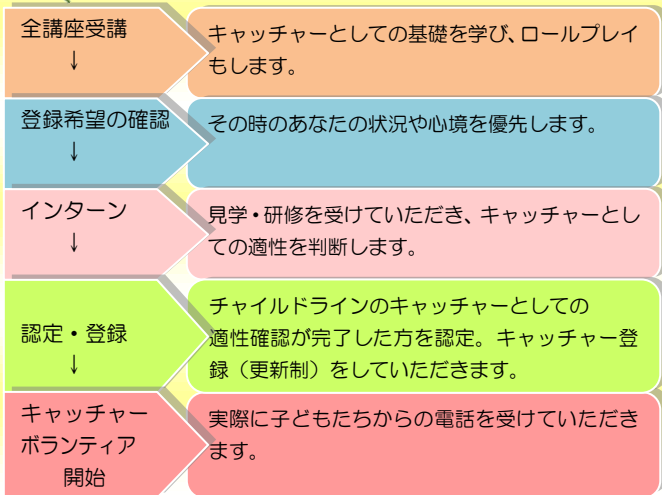
チャイルドライン「もしもしキモチ」

<http://www8.ocn.ne.jp/~moshi2/>



子どもは、「本気で自分の話を聞いてもらえた」と感じる事が出来れば、
自分自身でその課題と向き合い、乗り越えていく力を持っています

🍀 キャッチャーまでのステップ



講座終了後は、無理せず各々のペースで進んでいくので安心！

🍀 キャッチャーになった後

実践の中で出てくる疑問や不安をなくし、質の維持・レベルアップのためにフォローアップ研修、継続研修、研究会、ワークショップなどを行っています。

また、スキルアップや子ども支援に関することで更に幅を広げたい方には、「もしもしキモチ」推薦の様々な講座・研修をご紹介します。

子どもを支援する他分野への理解が広がります！

🍀 「もしもしキモチ」の特徴

全国 46 都道府県 78 団体に広がるチャイルドライン。それぞれに特徴があり、各地域で研修を受けたたくさんのボランティアさんたちが毎日子どもたちからの電話を受けています。その中の 1 つが、このチャイルドライン「もしもしキモチ」。

「もしもしキモチ」の特徴は、スーパーバイザーを始め、実際に現場に携わる専門性の高いサポーターが多いこと。キャッチャーの「聴く技術の習得」だけでなく、「聴き手としての内面の成長」や「言葉の奥にある本音を読み取る想像力の成長」も毎回サポートしていきます。

そのため「もしもしキモチ」のキャッチャー経験を活かし、臨床心理、教職、子ども支援活動に進む人が多いのも特徴で、私たちも「しっかり子どもの声に寄り添える大人たち」が各分野に広がり、社会全体で子どもたちを支えることが出来るようになっていくことを願っています。

専門家を交えてのふりかえりで不安解消！

🍀 講師



湊上 継雄
(元西南学院大学教授)
「もしもしキモチ」代表理事

福岡市児童相談所所長を経て 1987 年に西南学院大学文学部児童教育学科助教授に就任。1991 年教授に昇任。大学で児童福祉学、臨床心理学を教える傍ら、福岡市社会福祉審議会委員長、福岡市障害者施策推進協議会会長など社会的活動も幅広く行なう。「福岡子ども白書 2011」編集アドバイザー他。子ども劇場創設メンバーのひとりでもある。



山田 真理子
(九州大谷短期大学名誉教授)
「もしもしキモチ」代表理事

京都大学において河合隼雄先生のもとで心理臨床、箱庭療法などを学ぶ。30 年余りの教員生活の中で「保育心理士資格」を立ち上げるなど、一貫して子どもの立場に立った養成を行う。2011 年 9 月 NPO 法人「子どもと保育研究所ふるほ」設立。著書「子ども・こころ・育ち 機微を生きる」「機微を見つめる～心の保育入門～」他



「もしもしキモチ」第13期キャッチャー養成講座

【内容】

子どもたちの現状を、生活、発達、教育、人権、成長、性、精神医学など様々な面から捉えながら、「聴く」ことの大切さや「気持ちに寄り添う」ことの意味を、座学・ワークショップ・ロールプレイなどを通して学んでいきます。
また、子どもの自立を支える側として踏まえておかなければならないことも、「チャイルドライン」の意義やスタンス、地域で広がる子ども支援などから学びます。

【講師】

保育・教育・社会的養護などの現場経験豊富な専門家や臨床心理士を始め、医師、表現教育家、子ども支援に携わるNPO関係者など、専門的且つ実践型のメンバー

【期間】

※キャッチャーを目指す方は全講座受講が必須です

〈前期 第1～4回 公開講座〉 どなたでも参加できます
2013年5月～8月

〈後期 第5～10回〉 キャッチャー登録を目指す方対象
2013年9月～10月

【受講料】

〈前期 1講座〉 一般・学生：1,500円

〈前期 4講座通し〉 一般：5,000円 / 学生：4,000円

〈後期〉 一般：15,000円 / 学生：12,000円

(※合宿経費5,000円程度を含みます)

※要事前申込み 2013年5月23日(木) 〆切り (以降は、お電話・メールでお問い合わせください)



🍀 これまでの受講者の声

チャイルドラインの経験の中で私にとって最も役立っていることは、「傾聴」という「話を聴く姿勢」です。

子どもたちは「話を聴いてほしい」という気持ちを強く持っていますが、「聞く」ことができても「聴く」ことができる大人は少ないのが現状だと感じています。（高校教師）

大学で心理学を学んでいますが、学校では出会うことのない専門家の先生方からの講義で、自分の中の「子ども観」が広がりました。（大学生）

継続的に講座や研修を受けることで、気持ちに寄り添うことや言葉を丁寧に受けとめることの、基本と自分のやり方の違いに気付き、修正できる機会になりました。（臨床心理士）

一番に「聴く」ということのおずかしさを感じました。人の話を聴いているようで聴けていなかった自分に気付かされ、顔が見えないコミュニケーションの相手に与える印象や影響も学びました。（一般）

ご支援のお願い

チャイルドラインは、みなさまからのご支援により運営されています。子どもの心の居場所として、安定した活動を続けるためにぜひご協力をお願いします。

例えば…

・支援会員募集

毎年の継続的なご寄付により会を支えて下さる方（正会員、支援会員、法人会員、もきちクラブなど）

・ご寄付

当法人は認定NPO法人です。ご寄付をいただいた場合、所得から控除されるなど税制上の優遇措置が得られます。

・広報

地域、学校、企業などへ、子どもの現状を伝える講師を派遣しています。



全国に78あるチャイルドラインには、年間約23万件の電話がかかっています。チャイルドラインは、全国の子どもたちが電話代を気にせず安心して話すことができるように、統一番号フリーダイヤル（0120-99-7777）を実施しています。この通話料（年間およそ2000万円）は、支援者の方々からのご寄付で賄われています。寄付でのご支援も随時募集しています。

---申し込み---

（詳しい資料をお送りします）

下記申し込み用紙にご記入の上 Fax、またはメールでお申込みください。

お名前	
ご住所	〒
Tel/Fax	
E-mail	
所属・学校名	

NPO 法人チャイルドライン「もしもしキモチ」事務局

〒810-0023 福岡市中央区警固 1-13-15 404

Tel/Fax : 092-734-1540 E-mail : kimochi2@coral.ocn.ne.jp

HP: <http://www8.ocn.ne.jp/~moshi2/>

※迷惑メール防止機能をご利用の方は、受信許可設定をお願いします。